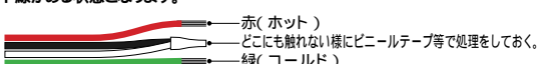


ベースピックアップ配線マニュアル

赤、黒、緑、白の4本のリード線が出ています。

赤——黒 白——緑

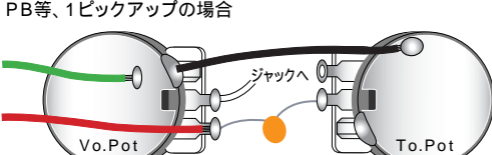
スタンダードなハムバッキング(直列)で使用するために、第1コイルの巻き終わりの黒と、第2コイルの巻きはじめの白を、結線します。ホット(+)は赤、コールド(-)は緑、になり最終的にはホットとコールドの2本のリード線がある状態となります。



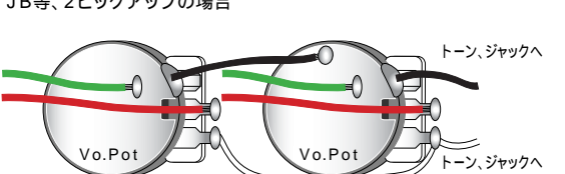
重要! 被服を3mm程むき、露出したリード線にハンダをしみこませておく
予備ハンダの処理を必ず行って下さい。



PB等、1ピックアップの場合



JB等、2ピックアップの場合



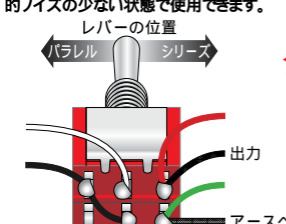
重要! 他のピックアップとミックス(ハーフトーン)で使用した時に音が小さく低音が出ないフェイズアウトになる場合があります。この時には、緑をホットに、赤をコールドになる様に配線を変更します。

マルチSWやロータリーSW、またミニSWなどの併用などにより複雑な配線になっていたり、上記以外のポットを使用していると、図のような配線ではない事があります。いずれの場合も、もともとついていたピックアップをはずす時に、どのような配線がしてあったかを全てメモしておく事が重要です。作業時のミスで、ピックアップ交換と関係のない線が切れてしまった時にも、復旧の作業が楽になります。又、他メーカーのピックアップとは、リード線の色の意味が異なります。わからない場合はプロリペアマンに依頼して下さい。

オプションワイヤリング

デュアルサウンド

ハムバッキングピックアップの2つのコイルをシリーズ(直列)/パラレル(並列)どちらで使用するかを切り替えるスイッチを取り付ける事により、ノーマルサウンドと高音域がクリーンに出力される2つのモードで、使用できます。同じ様な効果で、コイルタップ(シングルコイルとして使用する)という方法があります。シングルサウンドという面ではリアルですが、60サイクル辺りのノイズを拾いやすくなり、クォリティーの低下をまねく事があります。パラレル配線時においては、ストラトのハーフトーンのように、比較的ノイズの少ない状態で使用できます。



重要! 他のピックアップとフェイズアウトになる場合は、出力とアースの位置を入れ替えて下さい。ハダカ線は常にアースに落として下さい。

6P ON-ON(EP1106)又は、SW付Vo.ポットEP1200PP(250k) EP1201PP(500k)を使用

6P ON-ON-ON(EP1108)を使用し、図と同じ配線で、真中のONの時に片方コイルのみ(コイルタップ)のサウンドを使用できるようになります。

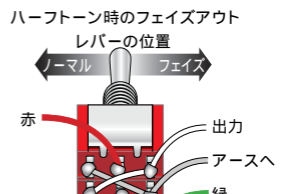
フェイズアウト

「重要!」の所で何度も記載した、フェイズアウトのサウンドを作る配線です。音が小さく、低音がカットされた独特なサウンドになります。ハムバッキングピックアップの場合は、ピックアップの単体の中で、コイル結線を組み替える方法と、他のピックアップとハーフトーンで使用時にフェイズアウトさせる2種類のサウンドが可能になります。

ピックアップ単体のフェイズアウト



ハーフトーン時のフェイズアウト



デュアルサウンド+フェイズアウトの配線

